

社協あんなか



この機関紙は共同募金の配分金によって発行されます。

平成 22年 8月 20日発行



今後の活動について皆で熱心に協議

… も く じ …

- ②…「たのしかった！」小学生ボランティアスクール
- ③…住民参加型福祉サービス「きずな」について
- ④…地域の話題
- ⑤…市内福祉施設等紹介
- ⑥…ボラセン通信等
- ⑦…サロン通信等
- ⑧…お知らせ、心配ごと相談日等

ニイイチ

いきいきサロン21誕生

安中市ふれあいネットワーク・秋間で初のサロン

6月30日（水）、秋間21区住民センターに22名が集まり、新しく立ち上げる「ふれあい・いきいきサロン」について話し合いが行われました。

保健師による血圧測定後、社協からサロンについての説明がありました。そして、全国各地の活発なサロン活動のビデオを観ながら、一緒に笑ったり、うなずいたり。

その後の話し合いでは、活発な意見が交わされ、「いきいきサロン21」（代表・萩原米造氏）に名称が決まりました。

住民が楽しく気軽に参加しやすいサロンの、今後の活動が期待されます。
(中里)

「たのしかった！」小学生ボランティアスクール

スケジュール【1日目：7月21日（水）】

9:30 開会 オリエンテーション
 9:40 車いす介助・高齢者擬似体験
 講師
 福祉体験学習サポーターによる指導
 11:10 昼食・休憩
 12:10 準備
 12:30 バス移動
 12:40 米山体育館到着
 障害者スポーツ体験
 15:50 バス移動
 16:00 地域福祉支援センター到着・まとめ
 16:40 解散

スケジュール【2日目：7月22日（木）】

9:30 開会 オリエンテーション
 9:40 県社会福祉総合センターへ移動
 10:35 館内見学
 点字体験・福祉用具等見学
 （カード記入、挨拶代表決定等）
 12:05 昼食・休憩
 13:00 バス移動
 14:00 のどの荘到着
 利用者とのふれあい
 16:00 バス移動
 16:10 地域福祉支援センター到着・まとめ
 16:40 解散

7月21日（水）、小学生ボランティアスクールが地域福祉支援センターで開催されました。福祉・ボランティアに関心のある市内小学生29名が参加し車椅子・福祉用具を身に付けた体験が、利用者、介護者に分かれ指導者に見守られ行われました。声掛けにて誘導し気配りを十分に思いやりの心で身体や周囲の様子を確認し車椅子の方向転換、手足に用具を付け階段の上り下りをうまく介助しておりました。



体験学習で高齢者、障害者を持つ家族の気持ちを理解し大変さや日常生活の不便さを感じ学び取る事が出来ました。（吉田）



7月22日（木）、特別養護老人ホームのどの荘において、市内小学生29名が介護体験のため施設見学及び利用者と交流を行いました。

伊藤施設長からのどの荘の概要と交流で得た個人情報の扱いについて説明を受けた後、居室・洗濯室・浴室・食堂・機能訓練室の見学をしました。

のどの荘は看護師3名が常駐のほか週2回医師が往復し健康管理をしています。風呂場でリフト入浴と車いすの操作指導があり食堂では、手、足が不自由でも出来るゲームで競争をして交流を深めました。終了時に小学生手作りの首飾りを入居者一人一人に掛けて喜ばれておりました。



今回のボランティアスクールに応募した志望動機は、「夏休みの絵日記材料」や「友達に誘われた」昨年に続いて2回目の参加等がありますが「夏休み当初の体験学習のため」より人気の高い企画でもありました。（武井襄）

住民参加型福祉サービス「きずな」 利用会員・提供会員 大募集

住民参加型福祉サービス「きずな」どんなサービス？

高齢社会や核家族化の進展等により行政による制度や公的なサービスだけでは対応が困難なニーズが発生しております。「きずな」は地域住民が主体となって助け合い、支えあっていくことを目的とし当会が企画・開発した独自の支え合い活動です。

利用会員とは

日常生活を営むことに支障があり事業を必要とする市民。

提供会員とは

年齢・性別に関係なく事業に共感していただける健康な市民。

サービスの提供について

提供会員が日常生活で空いている時間等を利用して利用会員の困りごとを手助けします。

提供できるサービス

- (1) 簡単な家事援助サービス（食事の支度、後片付け、洗濯、掃除・整理整頓布団干し等）
 - (2) 簡単な外出代行サービス（近所の買い物等 ＊車の運転が伴う場合、基本的に利用会員は同乗できません。）
 - (3) 趣味共有サービス（お話し相手、近所の散歩の付き添い、お茶飲み相手等）
 - (4) 子育て支援サービス（お留守番の付き添い、乳幼児及び児童の世話、遊び相手等）
 - (5) その他（庭木の水やり、代筆、電球交換、ペットの簡単なお世話等）
- ＊上記に載っていないサービスでも相談に応じますが、公的なサービスが優先になりますので、場合によっては提供できない場合や時間調整が掛かることがあります。

料金について

- ・会員の登録に1,000円が必要になります。
- ・利用会員は事前にチケット（1時間券700円・30分券350円）を購入していただき、サービス提供時に時間に応じ提供会員に手渡しします。＊チケットは購入後返金できません。
- ・提供会員は、時間に応じて報酬が支払われます。（1時間500円、30分250円）
- ＊登録料、チケットと報酬額の差額は、保険代や事務費として利用します。

有償ボランティアについて

無償だと「悪いから、申し訳ないから」と言って手土産を用意したり現金を用意したりと…返って頼みづらくなってしまう場合があります。市民が気兼ねなく助け合い活動をするための有償ボランティア活動なのです。

問い合わせ

提供会員が不足している地域があり、サービスを利用できない会員がいます。特に秋間地区、後閑地区、旧松井田地区で、「働くまではいかないが福祉活動に関心があり提供会員として協力できる人」を大募集します。

他地区でも興味がある方は下記までお問い合わせ下さい。（時間制約のある方でも調整いたします。）
安中市社会福祉協議会事務局

安中本所 安中市安中3-19-27 安中市地域福祉支援センター内 Tel 382-8397
松井田支所 安中市松井田町新堀245 安中市役所松井田庁舎内 Tel 393-3948

地域の話題

情報は
社協事務局へ

安中本所 Tel 382-8397
松井田支所 Tel 393-3948

楽しいひと時

ふれあいセンター祭

7月9日（金）、安中市障害者福祉ふれあいセンター祭が同センターで開催されました。

催し物は9時30分から、手打ちそば作りをボランティアカンナの会の人たち10名で行われました。10時30分より利用者、家族、カンナの会、職員などで楽しく歌を唄っていました。11時30分からは、そばを全員でいただき13時30分よりボランティアグループ「やまびこ」の人たちの人形劇や紙芝居などが行われ楽しいひと時を利用者、家族、ボランティアの人たちで心ゆくまで楽しんでいました。（上原）



皆で作ったそばを満喫



必死にスイカを探す女の子

盛大に納涼祭

のどの荘

特別養護老人ホームのどの荘は、7月30日（金）12回目の納涼祭を開催しました。

利用者による踊り、職員、地元ボランティア他の皆さんのフラダンス、盆踊り等が披露され、大いに賑わいました。スイカ割りは、楽しみにしていた子どもたちにより行われ、大きな声援を受けながら頑張っていました。模擬店では、焼きそば、かき氷、フランクフルト等が振舞われ、参加者に変喜ばれていました。最後の花火は真夏の夜空を彩り大盛況の納涼祭は無事終了し、参加者全員が夏の夜のひとときを楽しく過ごすことが出来ました。（高橋）

九十九支部草刈り奉仕

納涼祭前のうすいの里

7月24日（土）、うすいの里で九十九支部社協（白石敏行支部長）主催の草刈り奉仕が行われました。

当会役員36名が2班に別れて6月26日（土）7月24日（土）に行いました。猛暑の中、汗だくになって草刈りや花壇の中の草をむしる作業を1時間30分程行い終了しました。

毎年納涼祭開催日にあわせて1週間前に草刈り掃除が行われています。（上原）



汗だくの支部役員

第7回 市内社会福祉施設等紹介

施設名 小規模通所授産施設 **ワーク秋桜まついだ** **概要**
所在地 松井田町新堀339 **定員** 19名
連絡先 027-393-1692 **設立** 平成13年11月



ワーク秋桜まついだは、雇用されることが困難な在宅の障害者に対し、通所の方法により生活・職業訓練や創作活動を行っています。それにより施設外就労・施設内就労を考慮し社会的かつ経済的な自立を促進し、地域社会が一体となり障害者の福祉の向上を図ることを目的として開設されました。

主な作業内容としては、菓子箱折り・手芸品製作・豆腐販売・木工製作を実施しており、その他バザーやイベントに参加し、模擬店を出店しています。また、指導面では、生活指導・情操指導・体験指導（上原丘カラオケ教室歌謡発表会においてオープニングで、ワーク秋桜の歌を全員で合唱、1～3名によるカラオケ発表など）を行っています。取材時は城田先生指導による音楽教室を行っておりまして。（柿沼）

概要

梅雨の合間、旧国道から入った原市保育所を訪問、職員の悪沢様にお話を伺いました。

職員25名が0才から6才児まで5クラスに分かれ、各家庭の実情に合わせて早朝・通常・居残り保育を担当しています。春の入園式に始まって遠足、七夕祭り、夏祭り、運動会、12月の発表会等行事への取組みも大変熱心で、教室や廊下には作品や記録写真が工夫して掲示されていました。現在待機児童は0～1才児に多く前年度施設へ入れなかったためとか。年度末には近隣への移転計画が進行中です。

（須藤）

施設名 安中市立原市保育所
所在地 安中市原市1544-11 **定員** 110名
連絡先 027-385-5233 **設立** 昭和36年



施設名 グループホーム 竹の里
所在地 安中市五料2098-1 **定員** 9名
連絡先 027-380-4353 **設立** 平成18年10月



概要

竹の里は、五料地区「碓氷神社」北側にあり、今年で4年目を迎えます。緑が多く静かな広い敷地で草花作りや畑での野菜作りを楽しみながら「自由にのんびり穏やかに自分らしい生活が出来る」をモットーに認知症等の要介護を必要とされる9名の方を、非常勤を含め12名の専門スタッフが24時間ケアを行っています。年間行事として家族会と一緒に敷地内で納涼祭、紅葉祭、芋煮会を行い、毎月ボランティアによる映画観賞会も行われているそうです。

レクリエーションとして、リハビリを兼ねた体操や発声練習にと、童謡・唱歌や懐メロを声高らかに楽しく歌う入所者の明るい笑顔がとても印象的でした。（武井幸）

ボランティアセンター通信

ボランティア紹介

「碓氷線ボランティアガイド」



鉄道の歴史を説明する竹馬達雄代表

長い梅雨も明けた快晴の7月19日（月）、メガネ橋の上では、「文化財インストラクター」の人たちが全国から訪れる観光客に、碓氷線の歴史や四季折々の美しさを解説されていました。

メガネ橋は、平成5年近代化遺産として国の重要文化財の指定を受け、又、絹産業遺産群として世界遺産登録の暫定リスト入りをしました。

ガイドの皆様方も余暇を利用し、「ボランティア精神と感謝の心で、接客に励んでいる」と話をされていました。

1日も早く、世界遺産に登録されることを願って！！
（小林）

「公立碓氷病院ボランティアの会」

公立碓氷病院では、4月からボランティア活動の一環として、患者さんへのサービス活動を始めました。2級ヘルパーの資格を持つ神宮さんと中島さんが火曜日と木曜日の週2回、車椅子を利用する身体が不自由な患者さんを玄関から院内へ案内したり、一人で待つお年寄りに声掛けをしております。不安な気持ちを落ち着かせることができると大変好評だそうです。

これからは人数や曜日を増やして、患者さん一人一人のサポートをしていくそうです。

（伊勢崎）



親切に患者さんを案内する神宮さん（写真中央）

寄付者の紹介

平成22年6月1日～平成22年7月31日
（敬称略・順不同）

- ・安中市勤労者協議会 ・小林 定吉 ・上原丘カラオケ教室 ・青空歌謡愛好会
- ・障害者支援グループたんぽぽ ・匿名

あたたかいご協力ありがとうございます

サ ロ ン 通 信

梅雨入りの6月14日（月）、原市6区集会所で「郷原仲良会」（代表 田島 勲氏）の例会が開かれました。参加者は13人、出し物はカラオケが中心で得意の歌が披露され拍手が響いていました。

当会は6年前に発足し、会員は男性17人女性10人の27人で、毎週月曜日の午後3時間、歌と踊りを基本に活動しています。特に敬老会に披露する踊り「佐渡おけさ」は現地研修を行うなど腕を磨いています。また、93歳の女性会員はグラウンドゴルフ等に積極的に参加するなど元気で会員の目標とされています。参加者の1人はお喋りや歌などを楽しめて良かったと話していました。（宮口）

サ ロ ン 紹 介 「郷原仲良会」



カラオケで盛り上がるサロン参加者

高齢者にも簡単に 最初の1歩



パソコンを教えているボランティア

情報通信技術の進歩がライフスタイルに大きな影響を与えるようになりました。

パソコンの「食わずぎらい」を返上し少し勇気を出して新しい流れの一端を体感しましょう。

教室は「電源の入れ方からインターネットの利用まで、無料・予約不要・個人指導的」です。

安中市文化センター2階パソコン室で毎週木曜・土曜の午後1時30分～3時30分。備え付けパソコン15台（インターネットに接続しています）。ノートパソコン持参も可です。5名程度の講師が交代であたっています。（戸塚）

問い合わせ先 安中市文化センター
電話 027-381-0568

梅雨も吹き飛ばす

7月8日（木）～9日（金）恒例となっている「ひとり暮らし高齢者保養事業」を実施しました。

本年は事前に申し込みがあった202名の市民がバス6台に分乗、豊川稲荷や愛知明治村を見学し見聞を広めました。また、宿泊地の愛知三谷温泉では日頃の疲れを癒すとともに、参加者の交流を深めることが出来ました。

梅雨の時期で当日の天候が心配されましたが、参加者のパワーで2日間だけ雨が吹き飛び有意義な研修旅行になりました。（事務局）

夏休み親子で歓喜

7月24日（土）市内母子・父子家庭の交流と親睦を図ることを目的とし、「親子ふれあい交流事業」を実施しました。

当日は34組78人の親子が朝6時に市内を出発、バス2台で東京ディズニーランドに向かいました。夏休みに入って真夏の太陽が照りつけるなかでも、子どもたちは元気にお母さん、お父さんと行列に並んでは、乗り物に乗って歓声をあげていました。夜のパレードも見学でき帰りは遅い時間になりましたが、参加者は楽しいひと時を過ごしました。（事務局）

福祉ふれあいまつり福祉バザー物品並びにボランティア大募集

平成22年9月19日(日)に、安中市スポーツセンターにて「第10回福祉ふれあいまつり2010」を開催いたします。行事の一環として福祉バザーを実施いたします。家庭内に眠っている毛布・シーツ・食器等で**使用していないもの**がありましたら提供をお願いします。(古着・古本・使用済みの物はお断りいたします。)

【納入期間】 平成22年8月27日(金)～平成22年9月14日(火)

【納入場所】 ①安中市地域福祉支援センター内 社会福祉協議会安中本所
安中市安中3-19-27 TEL 382-8397

②安中市役所松井田庁舎内 社会福祉協議会松井田支所
安中市松井田町新堀245 TEL 393-3948

*** また、福祉ふれあいまつりの前日・当日にお手伝いいただけるボランティアを募集します。**

詳しくは事務局まで

第17回ボランティア活動助成について 財団法人 大和証券福祉財団

ボランティア活動を目的とした団体・グループ学生・若者のボランティア活動を積極的に支援します。

【応募資格】 申込みに際しては、社会福祉協議会・共同募金会等の推薦を必ず受けてください。
* 第14回(平成19年度)以降に当財団の助成を受けた団体・グループは、本年度の資格がありません。

【応募課題】 特に在宅老人、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動。

【応募期間】 平成22年8月1日～平成22年9月15日(当日消印有効)

【応募方法】 所定の申込書を財団宛にご郵送ください。
申込書はホームページからダウンロードできます。

【申込書送付先・問い合わせ】

〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル 財団法人 大和証券福祉財団
TEL 03-5555-4640 FAX 03-5202-2014 <http://www.daiwa-grp.jp/dsf/index.html>

心配ごと相談について(9月・10月)

(安中本所) と き: 毎週木曜日 9:00～11:30(祝祭日を除く)

9月 2・9・16・30 10月 7・14・21・28

ところ: 安中市地域福祉支援センター 1F相談室

(松井田支所) と き: 毎週月曜日 13:30～16:00(祝祭日を除く)

9月 6・13・27 10月 4・18・25

ところ: 安中市役所松井田庁舎 2F第9会議室